

(議事要旨)

農山漁村地域整備計画①『琵琶湖と人々の暮らしを支える森林整備計画(第3期)』

●委員

P24、計画の進捗について森林整備事業が増加しているがこれは花粉の事業が予想以上に増えたからか？

○事務局

そうです。

●委員

そうなる(全体の事業費)3,000 が 3,179 となったのは花粉のおかげでそうなったと見えなくはないのだが…。花粉で進捗が達成できた、どのように見えるがどのように評価するか？

○事務局

金額というより、実際に何が出来たかで評価しています。

●委員

そうであるならば、ここに金額以外のものをコメントしてはどうか？

○事務局

了解しました。

●委員

植え替え面積が 3.0ha から 49.75ha の増加、想定以上の事だが予算がある中でこれがどのような経緯で増加したのか？

○事務局

五カ年間で国の花粉対策が進んだこと、CO2 削減への貢献を含め木を伐採し収益を上げ再び植栽することに対して理解が進んだことが大きな要因と考えています。

●委員

3.0ha と 49.75ha では予算が全然違うので予算はどこから持ってきたのかな、という思いで聞かせてもらった。時代が後押ししたのかなという感じもありますね。

○事務局

そうですね。

●委員

P14 ですが荒廃した状況と整備後の写真がありますが、ここはこのままで植林しないのですね。

○事務局

工事により現地の土が移動しないようにし、周辺から種子が飛来して植生が生えていくことを想定しています。

●委員

石垣部分より下側については、土は止まっているのですよね？流れないようにしているのですよね？

○事務局

そうです。

●委員

P4 の県内 19 市町と書いているが、具体的にどこが対象であったか明記してはどうか？

○事務局

県内にある市町は 19 市町ですべてが対象となっています。委員ご指摘のように具体的に示すか、県内すべての市町を対象としていると記載します。

●委員

そうですね、このままだと対象外の市町もあるのかなと思ってしまう。

●委員

P24、漁場保全の森づくり事業は当初の額の半分くらいになっている。森林整備事業が大幅増になっていることから、その関係で漁場保全の事業が減らざるを得なかったのか？

○事務局

漁場保全の事業については実施時に必要な面積を再精査したところ減ずることになりました。

●委員

わかりました。

●委員

具体的な漁場とはどこを指すのか？

○事務局

具体的に言いますと、永源寺ダムの上流やため池の周辺が該当します。

●委員

造林事業で(P19)長浜市ほか6市町とあるが、他の市町はどこなのか？長浜市が一番多かったのか？どこが一番多かったのか？

○事務局

具体的な市町につきましては、長浜市以外に大津市、栗東市、甲賀市、高島市、東近江市、多賀町となっています。それぞれの市町でどれくらい事業をしたのかについては、申し訳ありませんが、この場で具体的な数字を持ち合わせておりません。

●委員

森を守るという中で林業や森に関わる人が減っている。獣害が増えている中で、ブナ林などの実のなる木を植えるなど時代に合った森づくりも 1 つかなと思うのだが…、(植えるのは)スギなんですか？

○事務局

資料としてはスギの少花粉苗を植えたというような書き方をしましたが、実際のところではクヌギやコナラなど実のなる広葉樹を植栽した現場もあります。

●委員

広葉樹を植えたところもあるのですね。県全体の中でこの事業を実施したのは何%くらいなのか？

○事務局

人工林面積が約 80,000ha(8 万 ha)ある中で、まだ 50ha 程度しか出来ていないのが現状です。県としましては奥地で林業を進めていくのは困難だと考えています。そのような場所では環境林といひまして、自然に近い山に戻していくといった事業を行っています。里に近いところでは森林を循環させて木材を使った環境に貢献するといった施策を進めています。

●委員

民有林に国の交付金を入れているということですか？所有者についてはその費用を負担しているわけではないのですね？

○事務局

造林事業についていくばくかは所有者が負担されています。

●委員

見た感じほとんどが補助金というか、それで事業を行っているように思いましたが…。

○事務局

治山事業などは県営で事業を進めていますが、森林整備の方は概ね補助金という形で所有者さんの負担を伴う形で執行しています。